

【奨励賞】

Make 学校教育 Great Again

～学内通貨「Rikaco」導入による実力主義時代の到来～

東京理科大学 経営学部 石井 泰有

〃 小林 奈々恵

〃 八木 留梨子

(要旨)

「大学全入時代」と形容されるようになった昨今、大学の授業に向上心をもって積極的に参加している学生と、そうでない学生が混在しており、①授業が学生に適正配分されておらず公平性に欠けること、②授業の価値が適切に評価されていないこと、③学生が授業に積極的に取り組むためのインセンティブが欠けていること、といった問題が存在する。

そこで我々は、「学内通貨 Rikaco を用いた履修権購入・インセンティブ向上システム」を提言する。本制度は以下の2つの仕組みからなる。

1. 「履修オークション制」
2. 「成績評価に応じた学生へのペイバック」

「履修オークション制」は、おもに上記の問題①②の改善に繋がる。「成績評価に応じた学生へのペイバック」により、上記の問題③が解決する。この2つの仕組みは、メリットだけでなくリスクにおいても相互補完関係にあり、楽に単位を取ろうとする学生のインセンティブ向上も可能となる。